



## 山笠はいつごろから始まったの

### およそ750年前に始まった

山笠とは、お祭りのときなどにかぶる、上のほうにかざりをつけた笠のことをいいます。しかし、「山笠」というと、福岡市櫛田神社の博多祇園山笠にでる山車が最も有名です。この祭りは、7月1日から15日に行われ、「かざり山笠」または「山笠」とよばれています。かざり物をつけた山車をすえたり、かついだりします。この山笠は、重さが1トンもあります。祭りの最終日には、それをかついで、速さを競争する「追い山笠」があり、博多の男たちが、真夏の博多の町を、走りぬけるようすは、たいへんな迫力です。勇壮で、はなやかな姿を見ようと、毎年、たくさんの観光客が訪れます。

祭りの運営は、各地域の「流れ」という組織(チーム)が行い、現在は、西、千代、恵比須、土居、大黒、東、中州の7つの流れがあります。

この祭りは、750年以上前に始まり、今日まで、引きつがれたものです。1979年には、国の重要無形民俗文化財に指定され、1991年には、博多山笠750年記念行事が行われました。

そのほかの山笠祭りには、戸畑提灯山笠、戸畑祇園大山笠などもあります。

(監修・青木 国夫)

